



## 『市函で 君の夢を実現しよう!』

市立函館高等学校は、平成19年に函館東高等学校と函館北高等学校を統合して生まれた高校です。新たな歴史を刻み8年目を迎えました。今、まさに新しい伝統を築きつつある活気にあふれた“現在進行形”の高等学校です。

市函は、一人ひとりの進路希望や興味・関心、適性に合った授業が選択できる仕組みをもった「進学重視型普通科単位制高校」です。少人数の授業展開、丁寧でわかりやすい授業により学力の向上をはかり、この春の国公立大学現役合格者数120名は、全道トップテンに入っている高校です。

さらに、人間性を育てる本校の校風は、加入率85%を超える部活動の活躍や、柳星祭をはじめとした大規模な学校行事に代表されるように、毎年大きな成果をおさめています。函館の持つ国際性と進取の歴史を受け継ぎ、「何を求める」の校訓のもと、生徒はここ市函でたくさんの友人を作り、共に学ぶ仲間を励まし、充実した学校生活を送っています。先生方も生徒と共に、授業に部活動に学校行事に、毎日全力で指導にあたっています。

君の夢実現のマイルストーンは、ここ市函にあります!

沢山の仲間と共に、ここ市函で、あなたの夢を実現しましょう!



市立函館高等学校長  
西田 正史

「何を求める」  
校訓



第三期卒業生(2010年度卒業)  
(北海道大学大学院理学院修士課程在籍)

三嶋 渉

こんにちは。三嶋渉です。卒業生を代表して、今回は僕の高校生活のお話をします。

僕は高校在学時に、生徒会活動、文芸部、ピアサポート、野外劇、ボランティアなど勉強以外の活動にも取り組んでいました。これらの活動に取り組んだのは、自分で直接経験してこそ初めて実感として得られるものもあるはずだという考えがあったためでした。当然、上手くいくときもあれば、そうでないときもありましたが、必死に取り組んだ時間というのは僕にとって今でも大事な糧となっています。相手とコミュニケーションを取るとは、話すだけではなく、聴くことも大切です。理系文系という線引きはないと思い始めた文芸部での活動は、現在の俳句同人としての活動に繋がっています。幅広い年代の人と交流し、様々な考えや知恵を教えて頂くことも興味深いです。たくさんの人と出会い、助けられ、支えられた高校生活は思い入れ深いものでした。

最後に。みなさんには夢がありますか?将来どのような自分になりたいと考えていますか?どのような職業につくとその自分を実現できますか?その職業についてたどるように世の中をよくしたいと考えていますか?ということに目を向け、真剣に考える3年間を過ごしてみようでしょうか。なりたい自分を育てるために自分・友人・先生たちとともに、勉強・部活動・学校行事・課外活動、市立函館高校で3年間頑張ってみるのはどうでしょうか。



現生徒会長  
土肥 未怜

本校の生徒会行事は、柳星祭や予餞会などがあります。柳星祭では各クラス行灯を作り、五稜郭の街を練り歩く行灯行列があります。予餞会では受験に向けて頑張る3年生を応援するため、市民会館という大舞台上で下級生が各クラス歌やダンス、寸劇などを披露します。また、3年団の先生方を中心とした劇、柳星座は3年次生へのエールが沢山詰まっています。柳星祭、予餞会はどちらも生徒達にとって大切な思い出となるものです。この他にも多くの行事がありますが、どれも生徒主体で行い、生徒全員が楽しめる生徒会行事です。また、本校は部活動も盛んです。運動部、文化部ともに沢山の部活動があり、どちらも数多くの優秀な成績を残しています。

本校は、進学校なので勉強が大変な部分もちろんあります。大学進学を中心とした学習に取り組んでおり、多くの教科選択群から授業を選択する事が可能なので、自分の将来に合わせた学習に取り組むことが出来ます。ですが、生徒会行事が多いこともあり、勉強だけでなく、かけがえのない仲間と巡り会い、かけがえのない思い出が得られるとても素敵な学校です。

皆さん、市立函館高校で有意義な高校生活をおくりませんか?